# （別紙）

# トラフグ資源の相互扶助漁獲支援に係る取組状況について

漁業者グループ名

代表者氏名

1. 通常の操業形態

|  |
| --- |
|     |

（注）通常の操業形態について、対象魚種、操業方法などを具体的に記載すること。

1. トラフグ資源の回復に係る取組

|  |
| --- |
|     |

（注１）トラフグ資源の回復のために行っていることについて、特に、合意した資源管理目標の達成に向けて、小型魚の再放流、操業期間の自粛・休漁、針数の制限、種苗放流等の取組について具体的に記載すること。

（注２）漁業者グループ内で複数の取組を行う場合は、それぞれの取組について記載すること。

1. 本事業（相互扶助漁獲支援）で対応が必要な理由

|  |
| --- |
|     |

（注）２に記載した取組では対応ができず、さらに相互扶助漁獲支援を行う必要がある理由を具体的に記載すること。